

茅ヶ崎ボランティアだより

編集・発行：茅ヶ崎ボランティア連絡会

令和6年11月7日
第165号

茅ヶ崎市新栄町13-44 茅ヶ崎市社会福祉協議会内
TEL: 0467-85-9650 FAX: 0467-85-9651
URL: <https://cvla1980.net/>

With A Coordinator

こーでいねーたーのページ

皆さんこんにちは。ボランティアセンターの鶴巻です。今年度も春のボランティア大学から始まり、夏休みおやこ手話教室、ユースボランティアが終わり、今はボランティアまつりに向けて準備を進めている頃でしょうか。早いもので今年もあと2か月余り、あつという間の一年の早さに驚いています。

ボランティアセンターは子どもから大人まで幅広い年齢層の方と関わることが出来ます。中でもボランティア大学では毎年たくさんの方の受講生の方との出会いが楽しみの一つでもあります。一步を踏み出したボランティアさんたちがどんどん活躍していく様子に「いくつになっても興味のあることに挑戦して前に進むことが出来るんだ！」と私自身が背中を押されます。私は事務所にいることが多いのですが、お顔なじみのボランティアさんをはじめ、新しいボランティアさんからもお声をかけていただくことも多くあります。これからもボランティアに関心を持っていただければ、親子程に年齢差のあるボランティアセンターの仲間に助けられながら頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ボラ連と各グループの活動状況

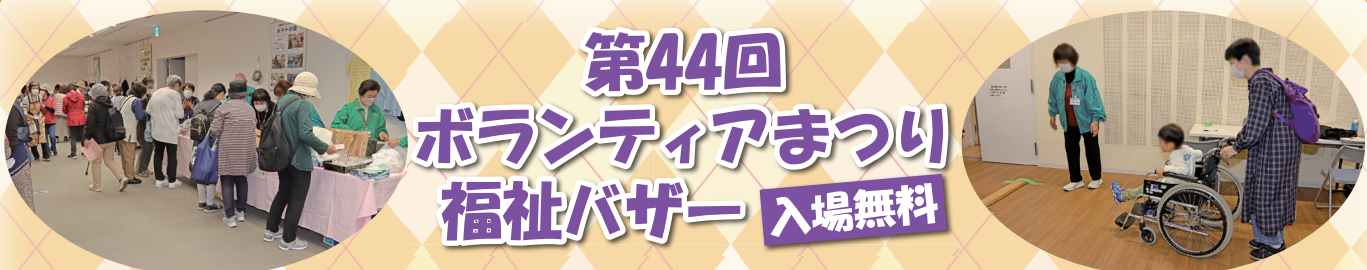
ボラ連 活動状況

- ★6月11日 令和6年度 第1回茅ヶ崎市社会福祉協議会理事会 渡邊前会長
- ★6月27日 令和6年度 第1回茅ヶ崎市社会福祉協議会定時評議員会(第5回茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会) 石井会計
- ★6月27日 令和6年度 第2回茅ヶ崎市社会福祉協議会理事会 廣田会長
- ★7月30日 令和6年度 第1回茅ヶ崎市地域福祉活動計画推進委員会 岡田書記
- ★8月28日 令和6年度 第1回茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会 廣田会長

各グループ

- ☆手話サークル 茅の会
6月26日 円蔵中学校 2年生3クラス117名と支援生徒6名 茅ヶ崎聴覚障害者協会指導&サポート
- 8月7日 サマースペース(うみかぜテラス) 小学生約40名 手話での挨拶、ゲームなど
- ☆茅ヶ崎市点訳赤十字奉仕団
5月27日 北陽中学校 2年生4クラス 点字体験・点字基礎
- 6月26日 円蔵中学校 2年生3クラス 点字体験・点字基礎
- 8月2日 サマースペース(うみかぜテラス) 小1・小6 点字体験
- ☆茅ヶ崎誘導グループ 草笛
5月21日 アレセイア湘南中学校 1年生53名 アイマスク・誘導体験

第44回 ボランティアまつり 福祉バザー 入場無料



展示室 車いす体験 10時～13時	練習室 1 アトラクション 紙芝居 10時30分～11時 マジック 11時～11時45分 手話ダンス 11時45分～12時30分	練習室 3,4 喫茶 10時～13時
展示室 点字体験 10時～13時	練習室 2 マッサージ 10時～13時	展示室 福祉バザー 10時～13時 植木、衣料、食品、雑貨、作品、はちみつ、手作り品、布おもちゃ、復興支援物産
展示室 控室 手話体験 10時～13時		



日時：令和6年11月23日(土・祝日) 10時から13時
 会場：茅ヶ崎市民文化会館 展示室・練習室
 内容：《福祉バザー》《福祉体験》《ボランティア相談》
 《アトラクション》《マッサージ》《喫茶》
 バザーの収益金はボランティア活動資金に活用させていただきます。
 内容は変更になる場合があります。
 お気軽にご来場ください! お待ちしております。
 共催：茅ヶ崎市社会福祉協議会・茅ヶ崎ボランティア連絡会 後援：茅ヶ崎市



編集後記

現在ボラ連では、印刷会社さんとHP担当の会員さんの力を借りてボラだより創刊号からのデータ化を進行中です。何らかの理由でボラ連には欠番となっている号があり、検索の結果茅ヶ崎市立図書館本館に在ることが判りました。早速図書館2階の資料室に行き複写サービスを利用しましたが、何号かごとにきちんとファイルされ製本されていたのには感動しました。とても立派で見違えるほどでした。これぞ地域の図書館の底力!地域の資料はきちんと図書館に納本することをお勧めします。

(編集担当 書記 松本)

- 5月27日 北陽中学校 2年生149名 アイマスク・誘導体験
- 8月22日 松浪地区社協(松浪コミュニティセンター) アイマスク・誘導体験
- ☆介護ボランティア ポテトの会
5月27日 北陽中学校 2年生149名 車いす操作とその意義を体験研修
- 5月28日 アレセイア湘南中学校 1年生53名 車いす操作とその意義を体験研修
- ☆布えほんグループ コスモス
5月11日 橋本図書館「布えほん展2024」(布おもちゃサークルピノチオ) 訪問
- 5月22日 茅ヶ崎市立図書館本館 定期補修、在庫品の点検・修理
- 6月12日 円蔵小学校 なかよし級 在庫確認・補修
- 8月7日 つつじ学園 洗濯・修理・作り替え
- 8月10日 イオン茅ヶ崎中央店3階 幼児とおとうさん・おかあさん 布おもちゃ・布えほんで遊ぶ
- 8月21日 サマースペース(うみかぜテラス) 小1・小6 40名 布おもちゃ・布えほんで遊ぶ
- ☆茅ヶ崎録音ボランティア なかま
8月8日 サマースペース(うみかぜテラス) 小学生約40名 紙芝居及び絵本の読み聞かせ

2024年度ボランティア大学を振り返って

5月8日～6月19日の毎週水曜日、7日間の全日程を無事終了しました。各日の平均受講者数は51名でした。例年と変わった点は初日と最終日の講師を興梠寛先生にお願いしたことです。初日からワークショップで皆さんすっかり打ち解けて良い雰囲気に。ボランティアのイメージが変わったとの感想も多く聞かれました。受講したきっかけは、具体的にやりたいボランティアがあった、ボランティアを始めるきっかけに、社会の役に立ちたい、など様々ですが、回を重ねる毎に、皆さん同じ方向を見て真剣に楽しんで積極的に取り組まれていました。今年は初めて、障がい福祉課の職員の方3名が体験の日に参加してくださいました。飛び入りで市議会議員の方も参加くださいました。近年は人数に余裕があるので、ボラ大の趣旨は変えぬまま、新たな展開の仕方もあって良いと思いました。

最終日にはそれぞれ希望するボランティアの選択コースへ進んだり、個人ボランティアに登録したり、現在は研修を終え活動に加わった方もいらっしゃる頃かと思います。ボランティアのはじめの一步を踏み出した皆さん、ボラルームでお目にかかれることを楽しみにしています。

プログラムの検討から当日の設営・撤収まで毎回ご尽力くださいましたボラ大準備委員会の皆さん、市社協VCの皆さん大変お疲れさまでした。

書記 松本 陽子



手話体験



最終日ワークショップ



選択コースオリエンテーション

ボラ大にご参加いただいた障がい福祉課の職員3名の方から感想をいただきました

①今回は、点字体験、録音体験をさせていただきました。点字で作った文章、記事を読み起こした録音いずれも届けた方の役立つよう、気を配りながら作成していることがよくわかりました。録音体験の際、講師の方に声を誉められました。自身の何がボランティアで役立つ可能性があるのか分かっただけでも参加してよかったなと思いました。

②いずれも初めての体験であり、楽しく体験することができました。点字体験の際には、小説も点字に変換しているとお話がありました。音声録音は公的な書物を音読するもの、その他の娯楽的意味の強いものの2種ありました。今回の体験が、障がい者の方の娯楽について考える契機となり、視野を広げることができました。

③車いす研修では正しい使い方や移動技術を学び、バリアフリー環境の重要性を理解しました。アイマスク研修では視覚に頼らず日常生活を体験することで、視覚障がい者が直面する困難さを実感しました。このような体験は、社会全体がバリアフリーな環境を作るために必要な取り組みの一つです。あらゆる世代の人々が参加することで、障がい者への理解と思いやりを深める機会になると感じました。

茅ヶ崎市茅ヶ崎市社協・茅ヶ崎ボラ連意見交換会

茅ヶ崎ボランティア連絡会 書記 岡田 善司

2024年8月1日にさがみ農協ビル4階のボランティアルームにおいて、茅ヶ崎市福祉部障がい福祉課(市)、茅ヶ崎市立図書館(図書館)、茅ヶ崎市社会福祉協議会(市社協)、及び茅ヶ崎ボランティア連絡会(ボラ連)による第2回目の意見交換会を開催しました。第1部は図書館に関する視覚障がい者へのサービス充実に向けたボラ連からの要望に対して意見交換を行いました。対面朗読に関しては、窓口、場所の確保、読み手の確保、読み手の育成などの課題があることなどを共通認識出来ました。今後は、ボラ連(茅ヶ崎録音奉仕会)と課題解消に向けた話し合いの機会を設け、この話し合いは読書バリアフリー法を推進する一つとして捉え、機材の購入を含め色々な取り組みについても課題にすることになりました。

第2部は2024年1月に

行った第1回の意見交換会で話題にした、ボランティア大学(市社協・ボラ連共催)に市の

職員3名の方が参加など、少しずつ進んでいる現状を共通認識しました。次回は2025年1月に開催することです散会しました。

市社協ボラ連意見交換会を終えて

茅ヶ崎録音奉仕会 会長 大村 美佐

市社協のご協力をいただき、ボラ連と市役所との意見交換会の機会を得て、日頃私達が抱えている問題点、各所への要望などをお伝えすることが出来ました。それぞれが現状を把握し、今できることを提示し合えたことは大きな前進であったと思います。

実際の成果としては、障がい福祉課には、課カウンターの視覚4グループ(点奉・録奉・なかま・草笛)合同で作成したチラシを常時配架していただくことになりました。広報シティブロモーション課とは、「広報ちがさき」音声版の茅ヶ崎市ホームページ掲載実現に向け具体的な打合せを開始し、10月より「音声で聞ける声の広報」として掲載がスタート致しました。図書館とは、対面朗読に関する協力体制の構築を最初の課題として話し合いを進めております。

この度の意見交換会で、ボラ連の皆様とも問題意識を共有することが出来、問題解決にむけて後押ししていただけましたことは、今後のボランティア活動にとっても、障害者の方々にとっても、より良い環境を整える取り組みとして大変意義のあるものであったと思います。

たんぽぽ ボラ連の仲間の活動状況です

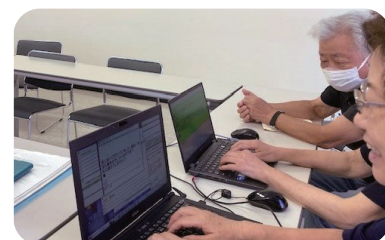
聞こえにくい、聞こえない方々へ、その場の音声情報を文字で伝える方法を要約筆記と言います。筆記通訳サークル「虹」は、聞こえに問題を抱える方々と文字でコミュニケーションを取りながら交流し、社会参加の支援をしています。

聴覚に障がいのある方のコミュニケーション方法としては手話がよく知られていますが、すべての方が手話で意思疎通ができるわけではありません。事故や病気、加齢などにより人生の途中で聴覚障がいが生じた方の中には、手話によるコミュニケーションが不十分な方もいらっしゃいます。「虹」では、そのような方々に、その場で話の内容を要約して手書きやパソコン入力で文字にして伝えています。

また、ボランティア大学や、中学校・高校から要請を受けて出前講座を行うなど、要約筆記や聴覚障がいについての啓発、普及に関する活動も行っています。

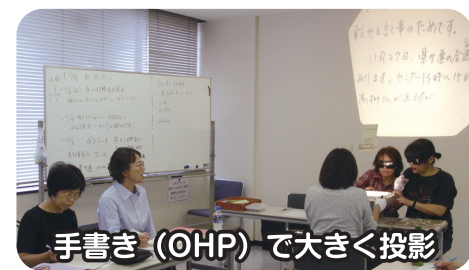
現在、会員は19名。長く続けている会員も多く、自分のライフスタイルに合わせてそれぞれのペースで互いに補い合いながら活動しています。1987年の創立以来、多くの先輩たちによって受け継がれてきた、要約筆記に真摯に向き合う姿勢を大切に、聞こえに問題を抱える方々との交流を深め、ともに活動しています。

筆記通訳サークル「虹」 室川 和子



パソコンでノートタイク (パソコン画面を直接見る)

筆記通訳サークル「虹」



手書き(OHP)で大きく投影